

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 01 23	中期総合計画主要施策番号		2-06 3-02	担当課	部・課	衛生部医療政策課	
事業名		看護専門学校運営事業					内線	2621	
							E-mail	iry@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	県内の看護師の確保を図るため、看護師の新規養成を行う。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 看護師の需要は増加し県内就業者数も増加しているものの、県内の病院の看護師充足率は低下しており、看護師の確保が課題となっている。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 診療報酬の改定等の影響により、都市部の大病院が看護師の増員を行った結果、県内の中小病院では看護師不足が生じている。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 看護専門学校を設置・運営し、看護師の県内従業者数の増加を図る必要がある。							
		事業内容	看護師養成課程の所定のカリキュラムに基づいた教育を行い、看護師国家試験の受験資格を付与する。 須坂看護専門学校 2年課程:学年定員20人 総定員40人 3年課程:学年定員40人 総定員120人 木曽看護専門学校 2年課程:学年定員30人 総定員60人						
実施期間	S34 ~	根拠法令等		長野県看護専門学校条例					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	看護師の県内就業者数の増加を図る。		就業する卒業生のうち県内に就業する人数の割合(県内就業割合)を、前年実績(90%)程度とする。 また、学校定員の充足率についても、前年実績(71%)以上とする。			卒業生で就業した65名のうち56名が県内に就業し、県内就業割合は86%であり前年実績を下回った。 また、充足率は82%となり、前年実績(71%)を上回った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	47,165	47,722	48,501	国庫・県単 県単		
	決 算 額 (B)		千円	42,268	42,930		実施方法 直接、委託		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	41,898	42,512	47,077	歳出節制内訳等		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	24.50	24.50	24.50	報償費:11,977、旅費:3,812 需用費:14,650、委託料:4,220 使用料:4,390 (単位: 千円)		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	217,198	218,081	223,652			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	卒業生		人	64	67	71			
	卒業生のうち就業者数( )は県内就業者数		人	62(56)	65(56)				
	県内看護師就業者数		人	15,896	17,047				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	卒業生のうち県内に看護師として就業した割合は就業者の8~9割を占めており、県内医療機関への人材供給の目的を果たしている。 ・充足率が、前年を上回るなど募集の効果が出てきている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・県内の看護師の供給の一翼を担っており、当面継続するもののH21に開設する長野看護専門学校等の影響などを見守りつつ、今後の2年課程、3年課程のあり方等を検討していく必要がある。						